

## 出雲市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況 (令和4年度実績)

### 【圏域の人口目標】

区 分	平成27年(2015) 〔基準値〕	令和7年(2025) 〔目標・推計値〕	令和22年(2040) 〔目標・推計値〕
人 口 (国勢調査)	171,938人	170,000人	166,000人

※令和7年(2025)及び令和22年の目標値は、出雲市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」の推計結果に基づいています。

### 【重要業績評価指標(KPI)の実績】

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標(KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2~R6

#### (1) 生活機能の強化に係る取組

##### イ 福祉

##### (ウ) 子育て支援体制の充実

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
子育て支援センター利用者数	66,090人日	45,609人日	↘	54,000人日
ファミリーサポートセンター利用者数	6,142人日	5,544人日	↘	6,270人日
4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	3人	0人	↗	0人

##### 【進捗状況】

子育て支援センター事業については、新型コロナの影響もあり、利用者数は減少しましたが、継続利用いただく方も多く、子育て世帯への支援として定着したサービスとなっています。  
ファミリーサポートセンター事業は、慢性的な提供会員不足に苦慮しながらも、依頼されたサポートは、ほとんどマッチングに成功しています。

##### 【今後の取組】

子育て支援センターの利用については、事業周知をより積極的に行うとともに、利用しやすい施設環境の整備に努め、利用者数の増を図ります。  
ファミリーサポートセンター事業の援助会員の不足を解消するため、募集の周知を強化します。

##### ウ 教育

##### (ア) 不登校に対する支援体制の充実・強化

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
不登校児童の割合	2.08%	4.08%	↘	1.98%

##### 【進捗状況】

不登校支援に係る人的配置として、スクールカウンセラーを全校に、不登校相談員を小中学校あわせて20校に配置しています。不登校児童生徒の割合については、近年出雲市のみならず、全国的に増加傾向にあります。不登校の要因については、個々の状況により様々であり、特定することは難しい状況です。

##### 【今後の取組】

不登校の減少をめざした取組を継続して推進するとともに、不登校児童生徒の多様な教育機会を確保し、社会的自立に向けて支援できるよう取組の充実を図ります。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2~R6

### (1) 生活機能の強化に係る取組

#### ウ 教育

##### (エ) 芸術文化の振興

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	11,360人	10,677人	↘	10,000人

##### 【進捗状況】

出雲総合芸術文化祭についてはコロナ感染拡大により中止されていたイベント等が秋頃から再開され、鑑賞者数が回復しました。

##### 【今後の取組】

事業の評価・検証等を常に行い、参加者(観覧者)が参加(観覧)しやすく、また、参加(観覧)したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努めます。

##### (オ) 高等教育機関との連携

	令和元年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
市内大学・専門学校在学学生数	1,825人	1,882人	↗	2,000人

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	114件	118件	↗	130件

##### 【進捗状況】

地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座や地域活動に在学学生が参加し、進学を考える高校生やその保護者に各学校の魅力発信を行っています。連携事業数も増え、講座等へ参加した学生により魅力を伝えています。

##### 【今後の取組】

今後も各学校と連携し、各学校の持つ豊富な人材、専門的知識や技術の提供を受け、地域課題(ニーズ)と大学のシーズをマッチングさせて課題解決に取り組んでいきます。

#### エ 産業振興

##### (ア) 企業誘致

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	33件 (H26~H30の累計)	5件	↘	30件

##### 【進捗状況】

昨年に引き続き、コロナ禍の中、誘致企業へのフォローアップ訪問を行い、企業立地優遇制度を活用する立地済み企業の増設及び首都圏からの新規立地を積極的に働きかけましたが、令和2年度・令和3年度のコロナ禍において誘致活動が出来なかったこと、増設に対し企業が慎重な姿勢を取っていたことで、認定件数は目標値を下回りました。

##### 【今後の取組】

引き続き島根県とともに誘致企業へのフォローアップ訪問を実施し、立地済み企業の増設を働きかけます。また、新会社とともに首都圏企業に対しパルメイト出雲の新施設への新規立地を含め積極的に働きかけ、市外企業の誘致と雇用の場の確保を進めていきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2～R6

### (1) 生活機能の強化に係る取組

#### エ 産業振興

##### (エ) 観光振興

	平成30年	令和4年度	進捗状況	令和6年
観光入込客数	1,162万人	1,050万人	↘	1,200万人
宿泊者数	74.7万人泊	72万人泊	↘	100万人泊
外国人宿泊客数	7,875人泊	1,581人泊	↘	20,000人泊

##### 【進捗状況】

コロナの影響が続く厳しい状況ではありますが、周遊型旅行商品の造成やターゲットを絞ったプロモーションなど時代のニーズに合った取組を実施することができました。

##### 【今後の取組】

観光需要の早期回復に向け、誘客プロモーション等需要喚起策を実施するとともに、引き続き、(一社)出雲観光協会と連携し、周遊プランの充実を図りながら、滞在時間延長・宿泊につながる取組を行います。インバウンドについては、今後は2025年大阪・関西万博を見据え、関西・山陽からの来雲、周遊を促進に向けた旅行商品の造成及び広報を行います。また、フランスにレップオフィスを設置し、メディアや旅行会社への働きかけにより、海外メディアへの露出を増やすとともにツアー造成を促し、誘客を促進します。

##### (オ) 農林水産業の振興

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
認定新規就農者数	4.8人	9人	↗	7人増
集約した施業団地数	—	1団地	↗	5団地

##### 【進捗状況】

継続的な新規就農者の確保に向け、オンライン産地ツアーや就農相談フェアなどを開催し、9名の認定新規就農者(うち1ターン就農者2名)がありました。

##### 【今後の取組】

単年度目標を達成しており、今後も同様に継続して実施します。

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

#### イ デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備

##### (イ) 防災ネットワークの構築

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者(世帯)数	17,664人・世帯	38,014人・世帯	↗	48,000人・世帯

##### 【進捗状況】

防災行政無線戸別受信機、いずも防災メールの加入・登録促進については、広報紙、ホームページ、出前講座等で防災行政無線個別受信機やいずも防災メールの加入勧奨を行った結果、市民の防災意識が向上し、目標達成につながりました。

##### 【今後の取組】

昨今大規模災害が頻発しているため、今後も様々な機会を通して、幅広い年齢層への周知に努めていきます。

**具体的取組**

**政策分野**

**施策**

重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2~R6
----------------	--------	-----	------	-------------------

**(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野**

**ウ 道路等の交通インフラ整備**

**(ア) 高速道路等の整備促進**

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
山陰自動車道「出雲・湖陵道路」進捗率	69%	85%	↗	100%
山陰自動車道「湖陵・多伎道路」進捗率	48%	85%	↗	100%

**【進捗状況】**

両道路の開通予定時期である令和6年度に向け、国において順調に事業推進が図られました。

**【今後の取組】**

引き続き出雲・湖陵道路と湖陵・多伎道路の事業促進に努めるとともに、県内全線の早期完成を国に働きかけます。

**エ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消**

**(ア) 農水工商連携による地産地消の推進**

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
学校給食地産地消率	60.0%	72.1%	↗	75.0%
「出雲推奨商品－おいしい出雲－」認定数	162商品	133商品	↘	180商品

**【進捗状況】**

地産地消の推進については、毎月、「学校給食マッチング会議」を開催し、食材(野菜、果物)に関する情報交換を行い、積極的に献立に取り入れてます。

「おいしい出雲」においても、県内外の百貨店・スーパーでのフェア開催や、JALふるさと応援隊や市内高校生徒との連携を行い、商品PR・販売促進に繋げました。

**【今後の取組】**

引き続き「学校給食マッチング会議」を開催し、関係機関から得た情報を献立に反映させ、地元産食材の積極的な使用に取り組めます。また、「おいしい出雲の一日」を設定し、地元産食材を積極的に使用します。

新たな事業(ポータルサイトによる情報発信、顧客の創造による販路拡大支援)により、従来制度以上に販売促進・販路拡大支援に注力し、「おいしい出雲」と製造事業者の持続的発展を図ります。

**オ 地域内外の住民との交流・移住促進**

**(ア) 定住施策の充実**

	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
UIターン就職支援窓口相談者数(年間延べ人数)	444人	263人	↘	500人
UIターン支援助成事業による女性のUIターン者数	49人 (H27~H30年度累計)	13人	→	50人
移住促進住まいづくり助成事業による助成件数	-	29人	↗	10件/年
新婚・子育て世帯UIターン支援(いずれもで新生活応援事業)による助成件数	-	4件	↘	35件/年

**【進捗状況】**

就職支援では、UIターン希望者等を対象に、就職相談、職業紹介などを実施しました。

「女性のUIターン支援」「移住促進住まいづくり助成」「新婚・子育て世帯UIターン支援助成」各種移住助成については、オンライン移住相談会等を利用し周知を行いました。新婚世帯・子育て世帯のUIターン支援については制度初年度につき、制度が十分に浸透せず、目標を下回りました。

**【今後の取組】**

東京圏の対象者に対し、いかに出雲市の魅力をPRし、移住・定住につなげていくのが重要なポイントと考えている。そのため、ホームページへの情報掲載や対象事業所への広報、対面・オンラインによる移住相談会やフェアなどの機会をとらえて、情報発信に努めていきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標(KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2~R6

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野				
オ 地域内外の住民との交流・移住促進				
(イ) 空き家の利活用				
	平成30年度	令和4年度	進捗状況	令和6年度
空き家バンク登録物件数	110件 (H26~H30年度累計)	27件	↗	150件
【進捗状況】 空き家バンク登録件数は、空き家民間団体との連携協定の締結等により、民間不動産業者における空き家の利活用は順調に推移しています。				
【今後の取組】 引き続き登録件数の増加に向けて、啓発活動を行います。				

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野				
ア 宣言中心市等における人材の育成				
(ア) 市民協働の推進				
	令和元年度	令和3年度	進捗状況	令和6年度
市民協働事業の補助対象事業採択数	5件	5件	→	6件/年
	平成30年度	令和3年度	進捗状況	令和6年度
コミュニティセンター利用者数	809,175人	541,428人	↘	810,000人
【進捗状況】 市民協働の推進については、補助対策事業採択数は目標値と同数となったが、コロナ感染拡大により事業内容を縮小する団体があり、交付申請額は当初申請額より減額となりました。 コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、コロナ感染拡大の影響に加え、高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少し、目標を下回りました。				
【今後の取組】 市民協働事業の補助事業について、今後は制度を広く広報するとともに、市内NPO法人に申請に向けて働きかけを行う予定です。 コミュニティセンターの利用については、積極的に地域事業の再開を促し、コロナ禍前の利用状況に回復できるよう努めていきます。				
(イ) 生涯学習の推進				
	平成30年度	令和3年度	進捗状況	令和6年度
コミュニティセンター利用者数	809,175人	541,428人	↘	810,000人
【進捗状況】 コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、コロナ感染拡大の影響に加え、高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少し、目標を下回りました。				
【今後の取組】 コミュニティセンターの利用については、積極的に地域事業の再開を促し、コロナ禍前の利用状況に回復できるよう努めていきます。				

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2~R6

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組				
イ その他				
(ア) その他				
	平成30年	令和3年度	進捗状況	令和6年
中海・宍道湖・大山圏域市長会等で実施するビジネスマッチング商談件数	651件	479件	↘	3,400件
中海・宍道湖・大山圏域での外国人観光客宿泊数	14万6千人泊	11千人	↘	45万人泊
中海・宍道湖・大山圏域での国内観光客宿泊数	408万人泊	280万人泊	↘	430万人泊
中海・宍道湖・大山圏域内への移住者数	3,543人	2,904人	↘	3,000人/年の維持
<p><b>【進捗状況】</b>          ビジネスマッチングの商談件数は、目標値には及ばなかったものの、新型コロナの影響で令和3年度はオンラインでの開催だったが、令和4年度は対面式で開催することができ、参加企業及び商談件数ともに前年を上回る結果となりました。          観光振興事業については、新型コロナの影響があるなか、海外への観光プロモーション、特に台湾向けのプロモーションに力を入れ、インバウンド再開を見据え、積極的な事業展開を図りました。</p> <p><b>【今後の取組】</b>          インバウンド再開に向けて、受入環境の整備等準備を整えるとともに、効果的に国内に向けた情報発信を実施することにより、圏域周遊促進及び旅行消費拡大の取組を強化していく必要があります。</p>				